

様式第 9

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
喜多方市	喜多方市	令和2年度～令和6年度	令和2年度～令和6年度

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指 標	現状（割合※1） （令和 年度）	目標（割合※1） （令和 年度） A	実績（割合※1） （令和 年度） B	実績/目標※2
排出量	事業系 総排出量	t	t (%)	%
	1 事業所当たりの排出量	t	t (%)	%
	生活系 総排出量	t	t (%)	%
	1 人当たりの排出量	kg/人	kg/人 (%)	%
	合 計 事業系生活系総排出量合計	t	t (%)	%
再生利用量	直接資源化量	t (%)	t (%)	%
	総資源化量	t (%)	t (%)	%
エネルギー回収量	エネルギー回収量（年間の発電電力量）	MWh	MWh	
最終処分量	埋立最終処分量	t (%)	t (%)	%

※1 排出量は現状に対する増減割合、直接資源化量・埋立最終処分量は排出量に対する割合、総資源化量は排出量＋集団回収量に対する割合を記載。

※2 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量については、（実績の割合-現状の割合）/（目標の割合-現状の割合）を記載。

(生活排水処理)

指 標	現 状 （令和元年度）	目 標 （令和6年度） A	実 績 （令和6年度） B	実績/目標 ※3
総人口	4 7, 0 1 1 人	4 3, 0 8 6 人	4 3, 0 7 8 人	—
公共下水道	汚水衛生処理人口	1 6, 4 7 3 人	1 6, 5 5 7 人	△28.1%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	3 5. 0 %	3 8. 4 %	136.0%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	2, 4 7 1 人	2, 1 2 8 人	111.4%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	5. 3 %	4. 9 %	133.3%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	9, 9 3 6 人	1 0, 4 1 5 人	218.7%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	2 1. 1 %	2 4. 2 %	124.0%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	1 8, 1 3 1 人	1 3, 9 7 8 人	117.4%

※3 （実績の割合-現状の割合）/（目標の割合-現状の割合）を記載

2 各施策の実施状況

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績		
発生抑制、再使用の推進に関するもの								
処理体制の構築、変更に関するもの								
処理施設の整備に関するもの	1	浄化槽設備整備事業	喜多方市	下水道認可区域及び農業集落排水事業、小規模集合排水事業の採択区域を除く市内全域を対象に合併処理浄化槽（5～10人槽）の設置に対し、その費用の一部を補助する。	令和2年度～令和6年度		補助件数	補助金額
						令和2年度	51基	15,871千円
						令和3年度	50基	14,900千円
						令和4年度	47基	20,842千円
						令和5年度	38基	17,219千円
						令和6年度	30基	16,908千円
						合計	216基	85,740千円
施設整備に係る計画支援に関するもの								
その他								

3 目標の達成状況に関する評価

〈下水道・農業集落排水〉

- ・公共下水道

汚水衛生処理人口は毎年供用開始をした区域の世帯を対象に接続についての加入促進を行っている。一定の効果はみられるものの整備区域内の人口減少などが主な原因で、目標達成に至らなかった。

汚水処理人口普及率については、目標達成することができた。

- ・農集排水施設等

実績の汚水衛生処理人口は、目標よりも若干下回ってはいるがこれは処理人口が減少していることが要因であると考えられ、概ね目標達成できたといえる。

実績の汚水処理人口普及率については目標達成することができた。

- ・合併処理浄化槽等

汚水衛生処理人口及び汚水処理人口普及率共に目標達成することができた。

- ・未処理人口

汚水衛生未処理人口は目標達成することができた。

(都道府県知事の所見)

集落排水施設等において、目標に届かなかったものの、未処理人口は着実に減少している。また、公共下水道及び合併処理浄化槽等については目標が達成されており、本計画による施策が汚水処理未普及解消に寄与したことが認められる。

引き続き、着実な整備を進め、汚水処理未普及解消に努められたい。